

山行報告 9月13日(土)～15日(月)

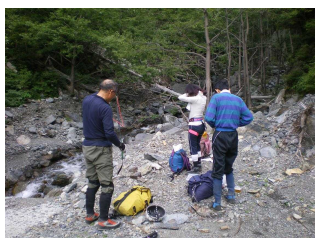
南アルプス小仙丈沢～仙丈岳(13日)・甲斐駒ヶ岳(14日)

参加者 S・I、A・T、I・O、K・O (記)

12日夜に車で出発、伊賀SAで車を乗り換え、戸台口に2時半に到着、仮眠を取る。
13日朝の一番バスは6時発であるが、人が多いので、5時前からバス運行のアナウンスが流れる。こちらもできるだけ早く北沢峠まで行き、バスの乗り換え時間を利用して、デポ荷物の仕分けすることに決める。北沢峠着6:20発7:20、野呂川出着7:35。
ここから林道を20分ほど歩くと小仙丈沢出会いに着いた。



林道歩き約20分



入渓準備・出発8:20



快適な登り



F2



F2中間部からは右の涸れ滝を岩登り

快適な登りが続く

沢自体は、ほとんどの滝をロープなしで快適に登ることができる。F2の出口で念のため補助ロープを固定したぐらいであった。沢は開けており、踏み跡もしっかりついていた。F2を過ぎると、水も少なくなり、源流部を経てカールに達した。



源流部で見つけたお花



源流部のカール・仙丈岳を望む



縦走路から小仙丈岳を望む

源流部のカールは自然が荒れることなく残っており、穂高の涸沢カールの悲惨な状況に比べ、心安らぐ風景であった。

カールからは向かって右の草付きとザレ場を詰めあがり、小屋へ向かう道と頂上に向かう道の分岐点に出た。

上空はどんよりとした曇り空であるが雨は落ちそうにない。



頂上にて記念撮影

頂上に13時25分到着。時間もたっぷりあるので、記念撮影をしたり、風景を眺めたりしてぼんやりと過ごした。ここからは携帯電話が通じたので、K・Nさん、SクラブのIさんにメールを発信した。

頂上出発 14時05分

北沢峠着 16時40分



左写真：バス待ちの混雑

甲斐駒ヶ岳(14日)往復

明け方は小雨が降っており天気を心配しながら出発。しかし途中から天気回復、暑い晴天となった。北沢峠からはツアーの団体も多く、縦走路は混雑極まりない。帰路は摩利支天に寄り、赤石沢奥壁を覗いてから帰った。

テント場6：40発、駒津峰9：00、頂上10：30、摩利支天11：30、双児山13：30、北沢峠14：45



仙水峠



甲斐駒ヶ岳頂上



摩利支天頂上



双児山



北沢峠キャンプ場



高遠城址公園

15日は朝からテントを撤収し、午前7時20分の一番バスで戸台口に降りる。高遠温泉で入浴するには時間が早すぎるので、高遠城址の見学に行って時間を潰した。後は入浴して帰った。